



保護者の皆さまへ

鹿大だより

No. 1

創刊号

◎編集・発行／国立大学法人 鹿児島大学広報委員会 〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号 TEL099-285-7035 FAX099-285-3854



●鹿児島大学の取組みに関する保護者の意識調査の結果について

「大学については満足しているが、定期的に情報提供して欲しい」

鹿児島大学では、学生の保護者の皆さまに「本学に関するアンケート調査」を実施いたしました。その結果、発行する運びとなったのが、この『鹿大だより』です。アンケートにご協力いただいた方々へお礼申し上げますとともに、結果をご報告させていただきます。

アンケートは、学部1年と3年に在学中の学生の保護者の方々の中から学部毎に2分の1を無作為抽出、合計2009名にご送付した結果、約半数の1111名にご回答いただきました。学生の保護者である皆さまのお考えを把握することで、本学の活動をさらに充実させたいという目的によるものです。

アンケートは「進学について」「大学のイメージ」「保護者への情報提供」の3分野について行いました。お子さまが本学で学んでいることに関しては、9割近い方に満足いただいています(図1)。

アンケートは、学部1年と3年に在学中の学生の保護者の方々の中から学部毎に2分の1を無作為抽出、合計2009名にご送付した結果、約半数の1111名にご回答いただきました。学生の保護者である皆さまのお考えを把握することで、本学の活動をさらに充実させたいという目的によるものです。

◎学長からひと言

M E S S A G E

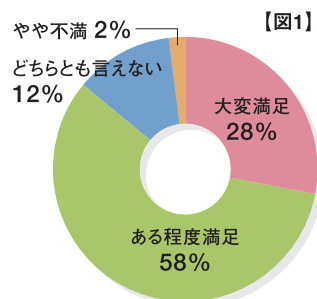
鹿児島という地域の特徴を活かし、社会の中で行動できる人間力を育てます。

鹿児島大学学長 吉田浩己



鹿児島大学はアジア諸地域に開かれ、自然環境に恵まれた地にあります。また古くから海外文化を取り入れ、日本の近代化を推進した人材を育成した地でもあります。この地理的特性と教育的伝統を踏まえて、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめ

ずす。これが「鹿児島大学憲章」にある本学の理念です。鹿児島県工業倶楽部や鹿児島市、垂水市、奄美市とは包括連携協定を結び、地域産業の活性化や地域社会の発展に本学の知的資源の活用を推進しています。一方で国際学術交流協定大学は中国・韓国等アジアからオーストラリア、欧米まで60を数え、研究者や学生の双方向交流、国際共同研究・教育を推進しています。本年4月からは、社会の中で行動



知らせて欲しい情報内容は、「就職支援や就職状況」がトップで、「学習成果(成績や単位修得状況)」「学習内容(教育内容や学年暦、授業時間割等)」が続きます。お子さんが鹿児島大学で学んでいることに満足しているのでしょうか？

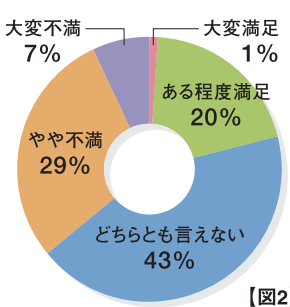
■各項目について、鹿児島大学に対してどのような印象をお持ちですか？
(5:非常によい、4:よい、3:普通、2:あまり良くない、1:良くない)でお答えください。
《4と5の合計を%で表示》

【表1】

入 学 前					
1	学生の教養(知識)	50.9%	8	教員の資質	26.5%
2	大学の教育力	50.8%	9	国際交流・国際貢献	23.2%
3	学生の専門性	36.6%	10	学生生活支援活動	21.5%
4	学生の教養(社会性)	31.5%	11	就職支援活動	20.1%
5	大学の施設・設備	30.6%	12	大学のキャリア教育	18.9%
6	大学の研究活動	29.4%	13	大学と企業の連携	18.6%
7	社会貢献・地域貢献	27.6%	14	大学の広報活動	12.8%

入 学 後					
1	大学の教育力	52.5%	8	学生生活支援活動	31.5%
2	学生の教養(知識)	49.5%	9	社会貢献・地域貢献	31.4%
3	学生の専門性	36.2%	10	国際交流・国際貢献	27.2%
4	学生の教養(社会性)	33.7%	11	大学と企業の連携	22.6%
5	大学の施設・設備	34.4%	12	就職支援活動	21.2%
6	大学の研究活動	33.7%	13	大学のキャリア教育	21.1%
7	教員の資質	33.0%	14	大学の広報活動	17.4%

自然豊かで便利な立地と温かな人間関係が魅力
アンケートでは自由記述で、本学の魅力や長所、改善点や要望などもご回答いただきました。魅力や長所は、市内の中央に自然が豊



鹿児島大学からの情報提供について、満足している方が多数ありました。情報提供に関しては、多くの方が大学の情報をほとんどご存知ないため、大学の動きを定期的に広報して欲しいと要望されています。今後も様々な角度から情報を発信、改善していきます。これらを踏まえて、今回

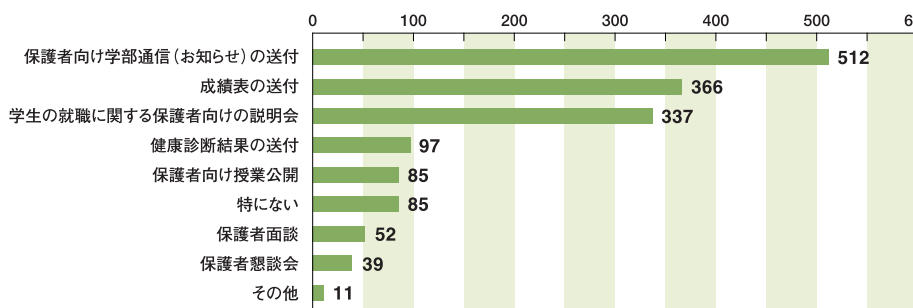
生活支援に関しては、老朽化した施設や昼食時の学生食堂の混雑等への改善を要望されています。もともと関心の高い就職支援に関しては、情報の少なさに不安を感じる声が多く、公務員・教員の受験対策を含めて、早期からのキャリア教育や就職支援を望む声が多数ありました。

かで広大なキャンパスを持つ点を挙げる方が多く、学生と教員や学生間のつながりなど人間関係への信頼感や、明るく自由な雰囲気も評価されています。教育に関する要望では、英語力を付ける教育や資格取得のサポート教育を望む声、保護者への成績表送付(理・工・農・水産学部ではすでに実施)を望む声等がありました。

発行に至ったのが、この『鹿大だより』です。創刊号では学生に対する本学の取組みを「教育」「生活」「就職」、それぞれの支援活動においてまとめました。今後とも様々な角度で、編集・発行し、いただいたご意見をもとに改善していきたいと考えております。なおアンケート結果の詳細につきましては、本学のHP(「トップ」→「広報・情報公開」→「広報」※)に掲載しておりますので、併せてご覧ください。

【図3】

※http://hh.kuas.kagoshima-u.ac.jp/kouhou/hogosya/index.htm



教育と学生支援に関する鹿大の取り組み

言うまでもなく大学の主役はお子さんたち学生です。本学では約2000人の教職員が、学生一人ひとりの大学生活を全力でサポートしております。「教育」「生活」「就職」それぞれの取り組みをご紹介します。

教育 EDUCATION

全学にPDCAサイクルを導入し、時代に即した教育改善を行います。

地域社会と連携しつつ、国際化に対応した教育に取り組みます。

「学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養う（大学憲章より）」これが鹿大の教育目標。その実現のため、全学で導入されているのが「PDCA」です。プラン・ドゥ・チェック・アクションを繰り返し、つねに教育体制を改善することを目指しています。

●教育改善サイクル(PDCA)【図1】



●鹿児島大学の特徴ある教育内容の例【表1】

名 称	内 容
鹿児島の中に世界をみる教養科目群(鹿児島探訪)	本学が創生した鹿児島の自然・政治・経済・文化・歴史・教育等に対する地域研究「鹿児島学」をベースに、「鹿児島探訪」の教養科目群(講義シリーズと体験シリーズ)を新たに構築。鹿児島に内在する「本質や普遍性」を学ぶことから、「国際社会や地球」を理解する能力を養成するのが目的。平成18年度、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に採択。
国際協力・海外派遣プログラム	共通教育には海外NGOと農業体験を行う「東南アジアファームステイ」(タイ・ベトナム・ミャンマーで実施)、ジョージア州で行う「北米コース」、フィリピンの「国際海洋生物学実習」等がある。「熱帯域における生物資源多様性保全のための国際教育プログラム」が、平成19年度、若手研究者(大学院生等)を支援する日本学術振興会のInternational Training Programに採択。
地域マスコミと連携した総合的キャリア教育	「地方の視点から情報を読む」「自己表現力をつける」「職業人としての自分をイメージする」を3本柱に「キャリア教育科目群」を編成。地域マスコミ12社と法文学部が連携して行う「マスコミ論」を中核に、「自己表現力開発プログラム」と企業・県庁等と連携した「キャリア科目」を含む。平成18年度、文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択。
地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム	鹿大と離島へき地医療機関をネットて結び、学生や医師の教育・研修を行うプログラムが平成17年度、文部科学省の「医療人教育支援プログラム」に採択。平成19年4月には「離島へき地医療人育成センター」を設置、全国の学生・医師に門戸を開いている。また平成18年度には「離島へき地医療を支える総合小児科医養成プログラム」が文部科学省に採択された。

●附属図書館

閲覧・貸出をはじめ、学外図書館との相互利用等も可能。学習室、パソコン端末室の利用者も多い。

	月～金	土・日
中央図書館	8:30～21:30	10:00～18:00
桜ヶ丘分館	8:30～21:00	10:00～18:00
水産学部分館	8:30～20:00	10:00～17:00※

※水産は土曜のみ。国民の休日と年末年始は全館休館。

●学術情報基盤センター

情報基盤を担う中核的組織。現在教育用システムとして850台以上の端末を学内に設置。センター内の端末は8:30～22:00(月～金)、13:00～18:00(土・日)利用可能。

《水産学部》ISO9001

国際標準化機構(ISO)の定める組織の品質マネジメントプログラムに関する国際規格。日本で初めて大学教育分野で取得した。教育管理体制の信頼性を判断する基準で、学生による授業評価や学部教育における自己点検・評価活動を通じて、教育システムの継続的改善と質の向上を目指している。

《工学部》JABEE

JABEEとは技術者教育認定機構。大学などで実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかを認定する。工学部海洋土木科、機械工学科、応用化学工学科、電気電子工学科、建築学科では、JABEE認定を受け、卒業者は国家資格技術士の一次試験が免除される。

生活 CAMPUS LIFE

健康管理や心の悩み、経済援助まで、サポートする仕組みがあります。

内容ごとに担当窓口を設けています。

お気軽にご連絡ください。

本学では教職員一丸となつて、学生の皆さんの生活全般にわたる支援活動を行っています。担当窓口をご確認の上、ご活用ください。

郡元キャンパスには保健管理センターがあり、毎年4月に全学生対象に定期健康診断を実施。異常が見つかれば精密検査や生活上の助言指導を行います。就職その他に必要な健康診断書の発行も受け付けています。医師・看護師等専門スタッフが常駐し、診療や傷病等の応急手当、健康相談、悩み相談を無料で受けることができます。

問い合わせ内容に応じた担当窓口が、下表の連絡先一覧です。手続きや履修状況など学生生活全般について、疑問やお困りの点がありましたら、お気軽にお電話でお尋ねください。

学生はもちろん、保護者の方のあらゆる悩み・迷いに対する相談窓口としては、「学生何でも相談室」が設置されています。まずは学生生活課職員が対応し、各学部の学生生活委員である相談員と相談室長(教育・学生担当理事)が連携しな

●鹿児島大学の連絡先一覧

学部地区	学 部 等	担 当 係 名	主 要 問 合 せ 内 容	電話番号(直通)
郡元地区	学生部教務課	共通教育係	共通教育の授業や履修の問合せ	099-285-8825
		学生何でも相談室	困ったことや悩みの相談	099-285-7311
		就職支援室	就職に関する相談・問合せ	099-285-7341
	学生部学生生活課	学生企画係	奨学金等の手続き	099-285-7335
		課外活動係	サークル・ボランティア活動等	099-285-7320
		経済支援係	入学科・授業料免除等	099-285-7033
		生活支援係	学生寮等	099-285-7340
	財務部経理課	収入係	授業料の納入等	099-285-3355
	法文学部	教務係・学生係	学部の授業や履修に関する問合せ	099-285-7525
	教育学部	教務係・学生係	学部の授業や履修に関する問合せ	099-285-7713
桜ヶ丘地区	理学部	学生係	学部の授業や履修に関する問合せ	099-285-8025
	工学部	学生係	学部の授業や履修に関する問合せ	099-285-8232
	農学部	教務係・学生係	学部の授業や履修に関する問合せ	099-285-8531
	医学部歯学部	医学教務係	学部の授業や履修に関する問合せ	099-275-5125
		歯学教務係	学部の授業や履修に関する問合せ	099-275-6040
下荒田地区	水産学部	学生サービス係	医・歯学部の学生生活全般	099-275-6727
		教務係・学生係	学部の授業や履修に関する問合せ	099-286-4040

●学生何でも相談室

《手紙での相談》
〒890-0065
鹿児島市郡元一丁目21-30
鹿児島大学学生部学生生活課「学生何でも相談室」宛て
《メールでの相談》
soudan@kuas.kagoshima-u.ac.jp
《電話での相談》
099-285-7311(FAX兼用)



中央食堂は8:00から19:30までオープン。朝食や夕食で利用する学生も多い。

から解決策を探っていきます。来訪による相談だけでなく、電話・メール・手紙でも相談できます。当然ながらプライバシーは厳守いたしますので、ご活用いただければ幸いです。

学生食堂・売店や学生証の発行等については鹿児島大学生活協同組合の協力を得ています。とくに学生食堂の利用履歴が保護者にも送付されるミールカードは、好評いただいております。

●就職支援プログラム(平成19年度の場合)【表1】

◎1～2年生対象	
4月～7月	● 教養科目前期「キャリアデザイン」スタート
10月～翌年1月	● 教養科目後期「キャリアデザイン」スタート
◎3年生および大学院1年生対象	
5月～翌年4月	● 公務員・教員採用試験対策講座開設
6月上旬	● 学生向け就職小冊子「就職支援ガイドブック」発行
6月20日	● 第1回就職ガイダンス「就活スタートアップ」
9月26日	● 第2回就職ガイダンス「本格的な就職活動の方法」
10月17日	● 第3回就職ガイダンス「業界(企業)研究・自己分析」
10月24日	● 第4回就職ガイダンス「理工系学生向けの就職活動」
11月14日	● 「キャッチワークかごしま」による就職支援出前講座
12月5日	● 第5回就職ガイダンス「公務員希望者ガイダンス」
12月8日	● 鹿児島県キャリアデザインセミナー
12月15日	● 学内合同企業セミナー(ブース形式)
2月6日	● 福岡ヤフードーム合同企業セミナー参加バスツアー
2月12日	● 第6回就職ガイダンス「エントリーシート対策講座」
2月13日～15日	● 学内合同企業セミナー(講義形式)
2月27日	● 第7回就職ガイダンス「面接対策講座」
3月4日～5日	● 第8回就職ガイダンス「面接本番直前の模擬面接講座」
◎4年生および大学院2年生対象	
4月～翌年3月	● 学内個別企業説明会(随時):3年生も対象
4月11日	● 公務員採用試験説明会(国、鹿児島県、鹿児島市等)
5月17日	● 長崎県・熊本県公立学校教員採用試験説明会
5月24日	● 鹿児島県公立学校教員採用試験説明会

●各学部の就職支援状況(平成19年度)【表2】

法文学部	就職ガイダンスを年3回、地元企業人事担当者による「就職活動に向けて」「模擬面接」と内定学生による「就職活動体験報告会」開催。内定学生約20名の「就職活動体験報告書」を配布。企業人やキャリアコンサルタントによる「キャリア科目」「キャリアアップ科目」を開講、キャリア討論会を実施する等。
教育学部	学部での就職説明会と教員採用試験対策講演会、卒業生や合格者による教員採用試験対策講演会を開催。受験生アンケートによる「教員採用試験の手引き」を発行。県教育委員会担当者、現職校長の講演会の開催。一次試験対策の講義を週1時間程度10回開講する等。
理学部	年2回の就職ガイダンスを実施。内容は、外部講師による講演と内定学生による体験談。県教育庁教職員課主査を講師に教員選考試験対策講演会を開催。企業人等による講義「科学ジャーナリズム」「科学技術と社会」「知的財産権と科学」を開講。理学部同窓会名簿の配布等。
医学部 保健学科	専攻別に就職指導担当教員を定め、個別進路指導は卒業研究の担当教員が担う体制。募集要項、訪問施設の資料を就職資料室に掲示。看護学では「進路指導のためのガイダンス」を発行、ガイダンス時に配布。理学および作業療法では、施設担当者による合同施設説明会を開催する等。
工学部	各学科で担任との面談後、就職担当教授を中心に個別対応する体制。推薦の割合が高いが、自由応募も増加傾向。半数強は理工学研究科に進学。OBによる就職ガイダンスを学科別に開催。学内会社説明会と学科単位で個別会社説明会を実施する等。
農学部	農林食品業界による企業説明会(ブース形式)「きばいやんせ鹿児島・九州」を開催。外部講師による進路就職ガイダンス(年2回)、OB講演会を実施。学科・講座・研究室単位で企業説明会、卒業生との交流会、内定者の体験報告会を開催。社会人リレー講義や農林食品産業リレー講義を開講等。
水産学部	就職ガイダンスを年5回「公務員志望対象(本学部教員)」「マナー・心構え等(外部)」「水産教員採用情報(水産高校教員)」「本学部OBによる講演会」「内定者による就活報告」開催するとともに、学部合同会社説明会(60社参加)を2月に開催する等。

就職
CAREER

就職支援センターを中心に、全学と
学部が連携して支援を行っています。

1・2年次はキャリアデザインの講義。3年次から支援が本格始動します。

就職活動では「自分の適性を理解」し、自分が望む「職業や企業等の特質を理解」することが求められます。本学には学生一人ひとりの就職活動をサポートする組織として、就職支援センターがあります。学生の就職活動全般において、1年次から支援する体制を整えています。

まず共通教育の教養特別科目の中に「キャリアデザイン」の講義を設け、1年生の後期と2年生の前期に

それぞれ13コマの授業を行います。「キャリアとは」の導入から、「自己表現とマナー」「適性の発見」「企業の求める人材」など、ほとんどが企業人など学外の講師による現場の実情を踏まえた講義。一般企業だけでなく公務員・教員への道も含めた多彩な内容です。

また学生が企業で研修生として働くインターンシップも教育に取り入れ、19年度は96機関で259名が修業体験しました。

3年生と大学院1年生に向けては、本格的な就職支援が行われます。公務員・

教員採用試験対策講座は、5月より翌年4月まで開設。就職ガイダンスは就職活動の流れに則して年間8回行われ、12月と2月には学内合同企業セミナーが開催されます。昨年12月のブース形式のセミナーは90社が参加、770名の学生が集まりました。2月のセミナーは120社、学生702名が参加。福岡ヤフードームで実施される「合同企業セミナー」へのバスツアーも、参加者は年々増える一方で、今年は約500名です(表1参照)。

その他、個別企業の説明



予約すれば丁寧な個人相談が受けられる

会を、随時学内で行い、HP等で周知しています。

業界研究の方法から、エントリーシートの添削、模擬面接まで、丁寧に個人相談に応じます。

就職支援センターでは個別の就職相談も行っています。企業出身者を含む3名の専任スタッフと企業人事のOBが、自己分析・業界研究の方法から履歴書・エントリーシートの添削、模擬面接などを実施。事前予



学内でのブース形式のセミナーは全国でも珍しい

約すれば、学年を問わずに受けることができます。

6月には就職活動のイロハがわかる「就職支援ガイドブック」を学部3年生と大学院1年生全員に配布。企業に向けても「求人のための大学紹介」を作成し、鹿大生への求人促進を行っています。

センターで受付けた企業や公務員等の求人情報は、ホームページにも掲載、業

種・職種・所在地等で検索できます。就職相談や求人情報の閲覧は、在学生だけでなく卒業生も利用できるのが、本学就職支援センターの特長です。

全学に向けてのサポートは就職支援センターで行いますが、各学部でも就職委員の教員を中心として、学部の特徴を踏まえた就職支援活動が行われています(表2参照)。本人の意思と行動力があれば、夢を実現するシステムやサポート体制は整っています。

地元で仕事をみつけるか、首都圏など県外にも選択肢を広げて就職先を探すのか。本人はもちろん、保護者の皆さまにとっても、大きな岐路となります。鹿児島にいても、ネットの普及で就

就職支援センターのホームページ

<http://shushoku.kuas.kagoshima-u.ac.jp>

職情報の収集は十分ですが、就職活動に関わるお金と時間の問題は存在します。視野を広く持つて、初めの一步を自分で踏み出せるよう支援に取り組みます。

◎平成20年度学事日程	
4月7日	入学式
4月11日～7月23日	前期授業
4月16日～5月7日	定期健康診断
7月24日～30日	前期末試験
8月2日～9月30日	夏季休業
9月10日	成績発表
9月17日～19日	後期履修申請期間
10月1日～1月28日	後期授業
11月14日～18日	鹿大祭
11月22日・23日	桜ヶ丘祭
12月24日～1月4日	冬季休業
1月29日～2月4日	後期末試験
2月20日	成績発表
3月17日～19日	前期履修申請期間
3月25日	卒業式

KAGOSHIMA UNIVERSITY ANNUAL SCHEDULE 2008-09

《共通教育の場合・3月時点の予定です》



焼酎学講座研究棟「北辰蔵」

●産学官連携による
寄附講座「焼酎学講座」
が開講

平成19年4月、農学部に寄附講座「焼酎学講座」が開講しました。県内焼酎メーカーと鹿児島県酒造組合が4億5000万円、鹿児島県が5000万円を寄附。鹿児島島の焼酎の歴史・文化・技術などを学問として体系化し、「焼酎のプロ」を養成することがねらいです。7月には研究棟「北辰蔵」が完成。10月からは一学期が研究室に所属し、焼酎造りなど研究に励んでいます。

●日本初の専門職大学院
「臨床心理学研究科」が開講

平成19年4月、専門職大学院「臨床心理学研究科」が開講しました。専門職大学院として、臨床心理士を養成する研究科を独立して設置するのは日本初。実習時間を大幅に増やし、現場で活躍してきた臨床心理学の「プロ」を講師陣に迎え、高度な専門性を持った即戦力となる臨床心理士の養成を行っています。

●離島へき地医療人育成センター設置

平成19年4月、大学院医歯学総合研究科に離島へき地医療人育成センターが設置されました。平成19年度、平成23年度の5年間、文部科学省の支援を受けながら鹿大の離島へき地医療教育のノウハウを生かし、離島へき地医療に貢献する人材を養成します。

●第2回シニア短期留学
県内外から20名が参加

平成19年6月3日～16日の2週間、50歳以上の方を対象に第2回シニア短期留学が開催されました。NHK大河ドラマ「篤姫」について解説する講義が加わるなど、鹿児島島の魅力を再発見するプログラムに、県内外から20名が参加しました。



休憩に立ち寄る人も多いインフォメーションセンター

●インフォメーションセンター
正門前にオープン

平成19年4月、郡元キャンパス正門前にインフォメーションセンターがオープンしました。地域住民、受験生、企業などの訪問者と鹿大との架け橋として、大学案内・広報誌・募集要項等の配布や、イベント案内等を行うコミュニケーションスペースです。鹿大オリジナルグッズや大学ブランド商品「ねじめびわ茶」、附属農場の生産物販売も行っています。



特別展「鹿児島湾の自然史」開催風景

●総合研究博物館特別展
『鹿児島湾の自然史』開催

鹿児島湾に生息する生物の多様性に焦点をあて、最新の研究成果を紹介するとともに、鹿児島湾の魅力を伝えることを目的とする第7回特別展が開催されました。会場にはパネルや400点超の標本、映像などを多角的に展示。会期中にコンサートや市民講座「鹿児島湾の生き物たち」も開催され、延べ2619名が来場しました。

●ルネッサンスアカデミー
第2期開講

鹿児島県の醸造や発酵を中心とする食文化の創造と食産業の発展に寄与し、地域の再生に貢献できる人材を養成する「かごしまルネッサンスアカデミー」の第2期(61名)の開講式が行われました。同アカデミーでは1年間をかけて約150時間の講義や実習が行われます。

●スタートダッシュ学資奨学金授与学生が決定

入学試験で優秀な成績を修めた者に対して「スタートダッシュ学資奨学金」を給付することになり、5月27日最初の対象となる学部学生32名への授与式が行われました。

●教養教育オープンクラスを実施

7月9日～13日に「教養教育オープンクラス」を実施。授業を市民に開放し、鹿大の教育や研究を学外に発信し、市民の視点で大学教育への提言を頂きました。

●中村晋也名誉教授文化勲章受章

本学名誉教授中村晋也氏が11月3日、文化勲章を受章されました。本学教育学部教授だった中村氏は、「愛と祈り」をテーマに数々の彫刻作品を発表されています。

●学生が都市デザイン競技で最優秀賞を受賞

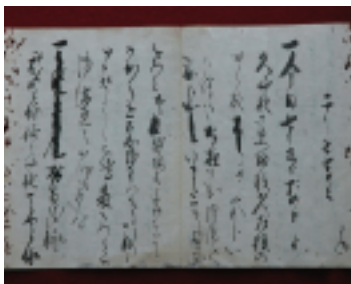
11月10日、兵庫県建築士会姫路支部50周年記念事業都市デザイン競技「文化の香り高い都市づくりに向けて」で、本学の学生・大学院生が最優秀賞を受賞しました。

●学生が天文館ギャラリーマップを作成

12月、法文学部経済情報学科国際文化研究室の学生14名が制作した「天文館ギャラリーマップ」が完成し、鹿児島中央駅総合観光案内所などに配置されました。

●天璋院篤姫ゆかりの酵母で大学ブランド焼酎開発

NHK大河ドラマ「篤姫」の主人公・天璋院篤姫ゆかりの今和泉島津家屋敷跡の土壌から分離した酵母で大学ブランド焼酎「天翔由」を開発。2月7日、記者発表を行いました。



発見された『越前島津家奥祐筆日記』

●新出「越前(重富)島津家奥祐筆日記」を含む図書
館貴重書公開

附属図書館貴重書公開「没後120年島津久光 玩古道人の実像」展が、附属図書館(10月)と始良町歴史民俗資料館(11月)で開催されました。同展では、附属図書館所蔵の玉里文庫の裏打ち紙から発見された『越前島津家奥祐筆日記』を初めて一般公開しました。

●鹿児島市との包括連携
協定締結

鹿児島市の街づくりにおいて、大学の知的資源や多面的な機能などを活用しながら幅広い分野で相互に協力連携し、地域社会の発展に寄与することを目的として、鹿児島市との包括連携協定を締結しました。



鹿大生もエキストラで撮影協力

●映画「北辰斜にさすところ」一般公開

鹿大の前身である旧制第七高等学校造士館と旧制第五高等学校(現熊本大)との野球対抗戦を舞台にした映画「北辰斜にさすところ」が、12月22日から全国主要都市で一般公開。鹿児島市でも1～3月上映され好評を博しました。

鹿児島大学広報誌「鹿大ジャーナル」

鹿児島大学のホームページ
<http://www.kagoshima-u.ac.jp>

MORE INFORMATION

最新の情報は鹿児島大学ホームページをご覧ください。「インフォメーション」「トピックス」など、常時更新しております。また広報誌「鹿大ジャーナル」(年3回、3・7・11月発行)もHP内で閲覧できます。

●ベトナム社会科学学院とのシンポジウムを開催

ベトナムハノイ市において、「ベトナムの経済発展と日本の経営」をテーマにシンポジウムを行いました。本学と学術交流協定を結ぶベトナム社会科学学院は、27の研究所を持つ政府のシンクタンクの機関。稲盛和夫京セラ(株)名誉会長(本学工学部OB)の基調講演とシンポジウムに、本学から学長はじめ代表団が出席。ベトナムの研究者、経営者、学生など約500名が参加しました。

鹿大の主な出来事

EVENTS IN KAGOSHIMA UNIVERSITY

平成19年度に鹿児島大学で行われた、主な出来事をご紹介します。

教育・研究のみならず、産業界や地域社会との連携、学生の活動など多彩な動きの中から、紙面の許す範囲で主だったものを掲載いたしました。

4月2日

●インフォメーションセンター
正門前にオープン

平成19年4月、郡元キャンパス正門前にインフォメーションセンターがオープンしました。地域住民、受験生、企業などの訪問者と鹿大との架け橋として、大学案内・広報誌・募集要項等の配布や、イベント案内等を行うコミュニケーションスペースです。鹿大オリジナルグッズや大学ブランド商品「ねじめびわ茶」、附属農場の生産物販売も行っています。

10月13日

●ルネッサンスアカデミー
第2期開講

鹿児島県の醸造や発酵を中心とする食文化の創造と食産業の発展に寄与し、地域の再生に貢献できる人材を養成する「かごしまルネッサンスアカデミー」の第2期(61名)の開講式が行われました。同アカデミーでは1年間をかけて約150時間の講義や実習が行われます。

10月15日～11月15日

●総合研究博物館特別展
『鹿児島湾の自然史』開催

鹿児島湾に生息する生物の多様性に焦点をあて、最新の研究成果を紹介するとともに、鹿児島湾の魅力を伝えることを目的とする第7回特別展が開催されました。会場にはパネルや400点超の標本、映像などを多角的に展示。会期中にコンサートや市民講座「鹿児島湾の生き物たち」も開催され、延べ2619名が来場しました。

11月15日

●本学の基本理念をまとめた「鹿児島大学憲章」を制定

平成19年11月15日の大学記念日に、大学の基本理念の核となる「鹿児島大学憲章」を制定しました。同憲章は教育・研究・社会貢献・大学運営の4項目から構成。大学を取り巻く状況が厳しくなる中、広く社会から支持・支援される大学として鹿大の目指すべき基本的な目標等を明らかにしました。

11月30日

●鹿児島市との包括連携
協定締結

鹿児島市の街づくりにおいて、大学の知的資源や多面的な機能などを活用しながら幅広い分野で相互に協力連携し、地域社会の発展に寄与することを目的として、鹿児島市との包括連携協定を締結しました。

12月22日

●映画「北辰斜にさすところ」一般公開

鹿大の前身である旧制第七高等学校造士館と旧制第五高等学校(現熊本大)との野球対抗戦を舞台にした映画「北辰斜にさすところ」が、12月22日から全国主要都市で一般公開。鹿児島市でも1～3月上映され好評を博しました。

2月29日

●ベトナム社会科学学院とのシンポジウムを開催

ベトナムハノイ市において、「ベトナムの経済発展と日本の経営」をテーマにシンポジウムを行いました。本学と学術交流協定を結ぶベトナム社会科学学院は、27の研究所を持つ政府のシンクタンクの機関。稲盛和夫京セラ(株)名誉会長(本学工学部OB)の基調講演とシンポジウムに、本学から学長はじめ代表団が出席。ベトナムの研究者、経営者、学生など約500名が参加しました。